

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586017001	科目番号 / Course code	05860170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 13531_005		
授業科目名 / Course title	A13コミュニケーション基礎実践 / Fundamentals and Practice of Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学教育イノベーションセンター		
担当教員TEL/Tel	2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は「コミュニケーション基礎講座」のモジュール科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要な基礎能力の育成をめざします。</p> <p>皆さんは大学や社会で求められるコミュニケーション能力とはどのようなものだと思いますか？大学や実社会では問題に対して一つの正答があるとは必ずしも限りませんし、回答が複数あることも数多くあります。そのため、大学以降では問題の要点を理解・判断したうえで、自分が考えた意見を人に伝えたり、自分と異なる意見を持った相手とも関係を構築するなどといったコミュニケーションのための様々な能力が求められます。</p> <p>この科目では、日本語の「読み」「書き」を中心に、プレゼンテーションやディスカッション等の基礎的な技能を高め、さらにソーシャルメディアの可能性や情報化社会が及ぼす影響について理解することによって、大学や社会で求められるコミュニケーション能力を全体的に高めていくことをめざします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1)与えられた情報の要点を理解し、要約することができる【本質理解】</p> <p>(2)調べたいテーマについて適切な方法で資料検索・調査ができる【情報収集】</p> <p>(3)正しい引用、注記方法を用いて論理的なレポートが書ける【計画立案力】</p> <p>(4)人の発表や意見を聞いたうえで、自分の意見をまとめ、述べられる【役割理解】</p> <p>(5)建設的かつ創造的に議論ができる【意見の調整・原因追究】</p> <p>(6)ものの見方、考え方には多様性があることを理解する【課題発見力】</p> <p>(7)自分自身で学習の習得状況を確認・分析・評価することができる【メタ認知】</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>成績評価は、課題およびリフレクションペーパーの評価で行います。評価は提示するルーブリックを用いて行います。課題70点、リフレクションペーパー30点の合計100点での評価を行います。</p> <p>また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席は8回以上 (リフレクションペーパーの提出) ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 <p>(課題については、期限外の提出は認めません)</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークまたはグループ・ディスカッションをもとに学修を深め、理解を確かなものにするために、適宜復習とレポートの提出を求めます(1~2h)。
キーワード/Keywords	読解力、論理的思考、批判的思考、情報リテラシー、ライティング、ディスカッション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講要件はありません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では読み書きを中心としたコミュニケーション能力を実践的に育成していくため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1, 2回	オリエンテーション, ライティングの基礎を学ぶ
第3, 4回	論理的な表現とは, レポートの書き方を学ぶ
第5, 6回	コミュニケーションスキルについて学ぶ, ディスカッション・プレゼンテーションの基本
第7, 8回	論理的とは(1), (2)
第9, 10回	情報セキュリティについて, ソーシャルネットワークサービスについて
第11, 12回	思考力について学ぶ(1), (2)
第13, 14回	思考力について学ぶ(3), (4)
第15回	まとめと振り返り

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586025701	科目番号 / Course code	05860257
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 13521_005		
授業科目名 / Course title	A13メディア・コミュニケーション基礎 / Media Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深尾 典男 / Fukao Norio		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	深尾 典男 / Fukao Norio		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	深尾 典男 / Fukao Norio		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	メディアが提供する情報活用に関心のある方であれば、学部学年は問いません。 多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukao nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	感染症共同研究拠点(文教キャンパス 事務局棟3階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2967		
担当教員オフィスアワー/Office hours	オフィスアワー: 10:00~18:00 外部との打ち合わせなどのため、不在にすることがあります。事前に連絡してください。 メールによる質問も受け付けます fukao@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日常の様々なメディアの影響力を検討し、社会規範の形成や権力の浸透におけるコミュニケーション過程を理解して生活に活かす。特に、マスメディアについて、その特性を詳しく学び、社会人として必要な情報収集の姿勢と手法を身に着けることを目標とする。また、グループワークなどを通して多様な考え方の存在を実体験する。		
授業到達目標/Course goals	長崎大学は、4年間あるいは6年間の教育プログラムを通して、「自ら学び、考え、主張し、行動できる能力」「分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能」「専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観」「地球環境と社会の多様性への理解」「主体性をもって他者と協働できる力」「地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点」を身に着けることを求めている。これらの力の根底にあるのが、情報を的確に収集し、分析、判断する能力であり、多様なメディアからの情報を読み解く力が必要になる。本授業では、マスメディアを含む身の回りのメディアについての理解を含め、日常接する情報を的確に判断する能力を身に着けることを目標とすると同時に、自らの情報発信能力、自らの考えを発信する力も高めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above グループ内の討論により発表内容をまとめ、グループごとに発表。その発表内容を他者が評価することで、自らの気づきを高める F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価は授業への取り組み姿勢、課題などを総合的に判断して行います。 ・ 授業への取り組み姿勢(授業中に課したテーマの提出など)(30%) ・ 取材と取材結果のまとめ(記者の疑似体験)(20%) ・ 新聞記事の読解、内容比較、評価(20%) ・ 授業を通じた気づきに関する最終課題(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	この授業では、県議会などの外部取材を実施し、その結果を記事としてまとめてもらいます。事前・事後学習として、取材対象となる事象の情報収集、事後学習として、グループで記事のまとめを行っていただきます。また、テーマを決めて新聞記事の読み比べを行います。授業外での新聞記事の論説比較などを実施する予定です。(4h)		

キーワード/Keywords	権力、言説分析、ポストモダニズム、論理的思考力、メディアリテラシー
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。新聞記事の論説比較は、教員がテーマを決めて新聞各紙の記事を配布します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	新聞記事の論説比較を行うことから、日本語の読解がしっかりできることが求められます。また、グループワークを行いますので全授業への参加ができることが必要です。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	「取材に出かけよう」では、県議会の取材を行う予定です。県議会の開催予定が、まだ決まっていませんので、日時が固まった段階で通知します。
学生へのメッセージ/Message for students	日常生活のなかで接する、新聞やテレビ、雑誌、インターネットなどの情報から、自分にとって必要な情報を収集し分析する力を身につけることを目的としています。授業を通じて、個々のメディアの長所や短所を理解し、自らの社会生活に生かす力を身につけてください。また、メディアの表現手法を学ぶことで、自身の表現能力、コミュニケーション能力を高めることもできると思います。全学共有学士像の「自ら学び、考え、行動を変革する 素養を有する」に向けて、自主的探究手法の一つとして社会に流通する情報へのアプローチ法を理解し、批判的思考力、社会参加への意欲を涵養してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y / 日経BP社という出版社で雑誌の取材・記事執筆、新雑誌創刊、イベント企画・運営、ネットでの情報発信ビジネスなどを担当してきました。
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	深尾典男 / 日経BP社（出版社）での勤務経験、長崎大学での広報戦略部長としての勤務経験 / 出版社での勤務経験に基づき、メディアの特性等について実践に基づいた解説を行うと同時に、取材、記事執筆などについて具体的に指導できる。また、長崎大学での広報担当者としての実務を基に、取材者の特性や考え方、メディアの捉え方を開設できる
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 / 9月28日	導入 / 報道について考える
2回 / 10月5日	取材に出かけよう！ / 議会を見よう
3回 / 10月12日	長崎県議会の取材結果をまとめよう グループごとに取材結果を記事に仕上げる
4回 / 10月19日	長崎県議会についてまとめた記事を発表する 各グループの発表を評価する
5回 / 10月26日	情報発信について考える（法律の観点から）
6回 / 11月2日	報道内容を分析する1（新聞の論調比較1）
7回 / 11月9日	報道内容を分析する2（新聞の論調比較2） 論調比較した結果の発表と評価
8回 / 11月16日	まとめ / メディアとの接し方を考える

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586027701	科目番号 / Course code	05860277
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15091_005		
授業科目名 / Course title	A13対人関係の社会学 / Sociology of Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部・経済学部・薬学部・水産学部・多文化社会学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	共用校舎2 (多文化社会学部3号館) 102		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指します。ちなみに本科目はモジュール科目「コミュニケーション基礎実践」で培った諸能力を応用するものとして構成しています。</p> <p>私達はこの世に生まれてから死ぬまで、直接的にせよ間接的にせよ、必ず誰かとの関係の中で生きています。その中には親、きょうだい、親戚、友人、恋人や、学校や職場などで出会う人々、そしてまた直接は出会わない赤の他人も含まれます。</p> <p>この授業では、成長するにしたがって広がっていく対人関係の中で身についていく考え方・ふるまい・関係性について理解を深めること、そしてまた、自分自身の経験についてふりかえり、これまで対人関係の中で受けてきた様々な影響や、今後めぐりあう対人関係について客観的・分析的に考える力を身につけることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる ・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べるることができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内ワーク及び事前ワーク40%、授業外課題60% 全課題の総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1) 全体の2/3以上の出席及び、(2) ワークと課題を全体の2/3以上提出していること(3) 最終グループプレゼンテーションに参加していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください) 本科目では、最終試験は実施しません。その代わりに、グループプレゼンテーション及び最終課題を実施します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回課題を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は前週の課題を提出したうえで臨むこと。(4h)		

キーワード/Keywords	社会化、ジェンダー、生徒文化、階層、再生産	
教科書・教材・参考書/Materials	<p>教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。 また、主な参考書は以下の通りです。 ビエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店 ビエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店 恒吉僚子(1992)『人間形成の日米比較??かかれたカリキュラム』中央公論社(中公新書) 木村涼子(1999)『学校文化とジェンダー』勁草書房 ポール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店(ちくま学芸文庫) アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容?近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 アーヴィング・ゴッフマン(1980)『集まりの構造?新しい日常行動論を求めて』誠信書房</p>	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻厳禁です。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。 	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考(URL)/Remarks (URL)	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻しないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。 	
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション・社会化とは何か(1)	A B C
第2回	社会化とは何か(2)	A B C
第3回	家族(1)	A B C
第4回	家族(2)	A B C
第5回	学校と友だち(1)	A B C
第6回	学校と友だち(2)	A B C
第7回	恋愛・結婚(1)	A B C
第8回	恋愛・結婚(2)	A B C
第9回	他人とのかかわり(1)	A B C
第10回	他人とのかかわり(2) & グループプレゼンテーションにむけて	A B C D
第11回	グループプレゼンテーション準備ワーク	B C D

第12回	グループプレゼンテーション準備ワーク	B C D
第13回	グループプレゼンテーション(1)	B C D
第14回	グループプレゼンテーション(2)	B C D
第15回	グループプレゼンテーション(3)	B C D
第16回	グループプレゼンテーション(4)および授業まとめ	A B C D